

# 大聖牛設置による効果のモニタリングと 伝統的川づくりの継承への取り組み

**Keywords** : 伝統的技術の継承、大聖牛、堆砂促進

## ● Before (単調な水際線)



## ● After (堆砂効果の発現 19年後)



本現場は水衝部に伝統工法の大聖牛（水制工）を設置し、護岸を保護するとともに、土砂堆積により瀬や淵が形成され、自然豊かな水辺を創出した事例である。設置より19年経過後の土砂堆積モニタリングでは、大聖牛の上部が流出しているものでも、残存した基礎部により堆砂促進が図られることを確認できた。